

活動報告

活動日	内容	依頼主・会場	対象	講演内容
-----	----	--------	----	------

2014年度

2月22日	出前授業	中央区立久松小	5年生2クラス +保護者	講師:鈴木誠二(理事) 「いのちの大切さに気づき、その使い方を決める」 ただ1度の人生でなんでもできるとしたら何をしたい? 
2月27日	医療について いっしょに考えて みませんかpart3	第一法規 会議室	一般市民 25名	NTT関東病院の落合院長に現状の医療についてお話しいただいた。 高齢者が増加する中で皆保険制度の存続が危ぶまれている。医療費も高騰を続け、昨年度は総医療費が38.4兆円となっている。こうした現状の中で、医療側がどのように対処しているか、患者さんの現状や医療側の思い、医師や看護師の不足からくる諸問題、地域格差や救急医療、予防の仕方や医療に対するの幼少時教育の必要性に至るまで日本の医療の問題をわかりやすく具体的にお話しいただいた。私たち医療の受け手も現状の医療がどうなっているか、患者の理解や姿勢が医療提供側にとっては大きな力になるということもわかった。 
6月3日	第12回 サイエンスカフェ	BOOKSHEL F CAFE(浜町)	一般市民 25名	テーマ:「子どもの個性はどう育まれるか」 スピーカー:加部一彦(かべかずひこ)さん 愛育病院新生児科部長 
10月4日	出前授業	中央区 豊海小	5年、6年150 名+保護者	講師:鈴木誠二(理事) 「いのちの大切さに気づき、その使い方を決める」 ただ1度の人生でなんでもできるとしたら何をしたい? 

活動日	内容	依頼主・会場	対象	講演内容
10月4日	出前授業	世田谷区立三宿中学校	全校生徒400名+保護者	<p>講師:薬師寺道代(理事) 「大切ないのちについて考える」</p> <p>医師としての看取りの経験からの話が軸になるが、コミュニケーション、周りの人への思いやりなど</p> 
11月22日	医療について いっしょに考えて みませんかpart4	協働ステーション中央	一般市民 22名	<p>三井記念病院院長 高本眞一先生をお迎えて</p> <p>医師と患者の関係はどうあるのが一番よいのか、「患者さんとともに生きる」ことこそ医師の姿ではないか。患者さんがあって医療者が生き、医療者によって患者さんが生きる、医師はそのガイド役である。これこそ「ともに生きる」ということである</p> 
12月8日	第13回サイエンスカフェ」	BOOKSHELF CAFE(浜町)	一般市民 22名ほど	<p>テーマ:「～がんを見つける、脳を測る～ 近未来の診断デバイス」</p> <p>スピーカー:一木隆範(いちき たかのり)さん 東京大学大学院工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻・准教授</p> 